

ウィンターフィールド

省管理型スポーツターフ用改良コウライシバ

【特性1】 緻密・草高抑制



※藤崎式芝生草高計で調査した芝の地際部からの高さ

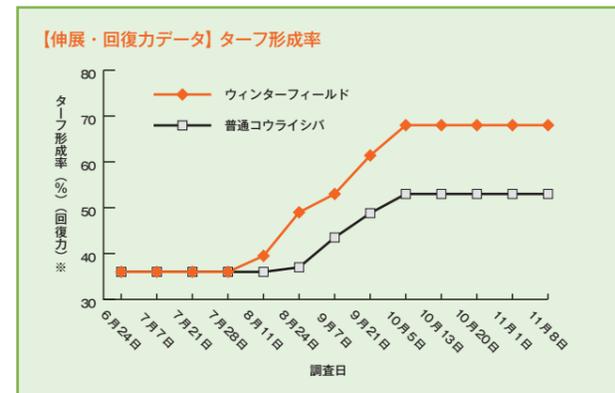
品種特性上、【**葉幅が狭く、葉長もやや短く節間の詰まったほふく茎が密生する**】ため緻密なターフを形成します。

また、【**草高抑制に特化**】している品種のため、**芝刈り回数の軽減**が可能な省管理・省コスト型のターフといえます。刈りくずに取られる余分な肥料も節約できます。

【特性2】 伸展・回復力に特化



※12cm×13cmの芝ソッドから伸長したほふく茎の数



※12cm×13cmの芝ソッドを40cmの間隔をあけて植栽した場合の芝のカバー率

【**ほふく茎の本数が普通コウライシバに比べて非常に多く**】、地面に対して水平方向の増殖・伸展が速くなり、ターフ形成が短期間に整います。

踏圧にも強いため、スポーツフィールドでは、【**踏圧や擦り切れに対する修復・回復力**】に定評があります。



【伸展試験】

【特性3】 緑色保持



※観察者の目視による相対的数値

【**緑色保持期間が長い**】傾向があります。また、冬枯れ時も紅葉しにくい性質があります。※地域により差異が出ない地域があります。

開発・育種経緯

ウィンターフィールドは、農林水産省農業生物資源研究所・放射線育種場において、冬枯れ耐性等を目標としてガンマ線照射による突然変異を起こさせ^{*}、その後選抜育種を重ねたコウライシバの固定品種です。厳格に区画された圃場で栽培育成されているため、形質が均一であることが大きな特徴です。

(※変異は遺伝子に固定されており、安全性には問題ありません。)

用途・実績

【公園】



神奈川県内公園

【公園】



宮城県内公園

【野球場】



福井県内野球場

【陸上競技場】



栃木県内陸上競技場

【校庭】



鹿児島県内小学校校庭

【各種施設】



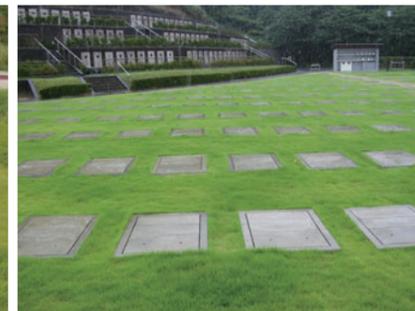
石川県内体育館

【パークゴルフ場】



秋田県内パークゴルフ場

【寺社・霊園】



静岡県霊園

【園庭】



群馬県内子ども園園庭